

第5分科会 テーマ：経済・産業・観光

第5分科会では、テーマのうち主に産業・観光に着目して調査・研究を行うこととした。

農 業

○現状と課題

本市の農業は畑作が中心であり、主な農作物は落花生、里芋、生姜、人参、西瓜等で、農業産出額は県下で第7位となっている。

一方、安価な輸入農産物の流通による価格の低迷や農産物に対する消費者ニーズの多様化など、農業経営環境は厳しさを増しており、農業従事者の高齢化や経営者の減少は深刻な問題となっている。

このため、市では、担い手の育成と確保、経営改善支援、農用地の利用集積等の事業を実施している。

【課題】

- ・ 農業の担い手の育成・確保
- ・ 農地の維持、保全、遊休農地の解消
- ・ 農産物の価格の低迷への対応
- ・ 消費者ニーズへの対応
- ・ 地産地消の促進
- ・ 砂ぼこり対策

○課題を克服するアイデア

「農業の担い手の育成、確保、農地の維持、保全、遊休農地の解消」

→耕作放棄地や遊休農地を農業をやりたい方に貸す

→他市、他県から、農業をやってみたいという方を受け入れ、農業後継者として育成する

→観光農業、農業体験の推進する

「農産物の価格の低迷への対応」

→八街産野菜をブランド化する

「砂ぼこり対策」

→季節的な作付けに起因する部分が大きいため、小麦などを作付けする

◎アイデアを具体化させるための協働

課題を克服するためのアイデアはいくつか出ているものの、アイデアを具体化するのは難しいという結論になり、協働に結びつけることができていないので、引き続き検討していきたい。

○参考（他市の協働事例）

- ・ユニバーサル農業（園芸作業を行うことによる生きがいつくりや高齢者・障がい者の社会参加などの効用を、農作業の改善や農業の多様な担い手の育成などに活かしていこうという取り組み。障がい者の就業、高齢者の生きがいつくり、教育、コミュニティ作りなど）の推進

商 業

○現状と課題

本市では人口増加による消費需要の拡大に伴い、幹線道路沿線を中心に郊外沿道型の大型小売店が多く進出し、商店数や従業員数、販売額は大きな伸びを示してきたが、近年は景気の低迷などもあり、小売業の販売額は減少に転じている。

また、八街駅南側の中心商店街では駐車場の不足、消費者ニーズの多様化への対応の遅れなどから来街者は減少し、空き店舗の増加がみられる状況となっている。

このため、八街駅南口商店街では、空き店舗対策として休憩施設兼ギャラリーの運営や宅配事業などを実施しており、市も駅周辺の活性化のための支援を行っている。

【課題】

- ・ 駅周辺の活性化
- ・ 公共交通、駐車場の整備
- ・ 消費者ニーズへの対応
- ・ 商店街のPR
- ・ 空き店舗の活用

○課題を克服するアイデア

「駅周辺の活性化」

→ 駅前公園を使ったイベントの開催

「消費者ニーズへの対応」

→ 食べ歩きができるような店を多く作る

「空き店舗の活用」

→ 駅前の空き店舗を活用した保育施設

◎アイデアを具体化させるための協働

課題を克服するためのアイデアはいくつか出ているものの、アイデアを具体化するのは難しいという結論になり、協働に結びつけることができていないので、引き続き検討していきたい。

○参考（他市の協働事例）

- ・ 学生が商店街を取材し、店舗紹介ホームページを作成する

観 光

○現状と課題

本市では、観光名所のような有力な観光資源がないことから、他の地域から多くの人を呼び込むという意識が乏しく、観光客の受け入れ体制（道路、駐車場、公共交通、宿泊施設等）も整っていない状況にある。

観光に関する市の取り組みとしては、八街市観光農業協会と協力し、ブルーベリーの摘み取り体験や落花生掘り取り体験を実施している。

【課題】

- ・ 観光資源の把握

- ・観光資源のPR
- ・観光の受け入れ体制の整備（道路、駐車場、トイレ、公共交通等）

○課題を克服するアイデア

「観光資源の把握、観光資源のPR」

→観光マップの作成

→生落花生の観光資源化（販売、落花生掘り）

「観光資源のPR」

→観光資源、イベントなどを多くの人に知ってもらう手段が無いので、様々な情報が載せられるホームページなどの作成

◎アイデアを具体化させるための協働

「観光マップの作成」

→市民（学校、地域等）との協働による観光資源の掘り起こし及び観光マップの作成

「観光資源、イベントなどを多くの人に知ってもらう手段が無いので、様々な情報が載せられるホームページなどの作成」

→市民（学校、地域、団体等）との協働による、様々な情報が自由に掲載できるホームページ等の作成

○参考（他市の協働事例）

- ・観光スポットがない地域でも、地域固有の郷土料理等を観光資源として活用し、様々な団体が協働して盛り上げることにより、成功している事例が多くある。（勝浦タンタンメン、富士宮やきそば等）

林業

○現状と課題

本市では、私有地や防風保安林として山林を所有している方が大半となっていることから、自助努力による適正な山林の整備が期待できない状況にあり、山林の荒廃による水源涵養機能や表面浸食防止機能などの公益的機能の低下が心配される状況にある。

このため、市では、森林機能対策事業として、病害の被害木の伐倒・搬出を行い、森林の持つ多面的機能の維持・増進を図り森林環境の保全を図っている。

【課題】

- ・森林の公益的機能の維持増進

○課題を克服するアイデア

- ・里山保全活動

◎アイデアを具体化させるための協働

- ・里山保全活動をしているNPO等と、整備を希望する山林所有者とのマッチング

を行う

畜産業

○現状

本市の畜産業は、後継者不足などにより畜産業従事者が減少・高齢化傾向にある。

また、近隣の住宅化に伴い、家畜の糞尿等による悪臭が環境問題化されつつあり、畜産業を営む環境が整っているとはいえない状況にある。

市では、優良な素畜導入、家畜の資質向上、畜産防疫などの事業を行い、畜産農家の経営安定化を図っている。

【課題】

- ・畜産業の環境整備

○課題を克服するアイデア

- ・実現可能なアイデアなし

工業

○現状

本市の工業は、地場産業である落花生などの農産物加工業や木材製品、金属製品の製造などが中心となっている。

本市には工業団地などがなく、道路等も整備されていないため、企業が進出しにくい状況にある。

【課題】

- ・企業の誘致

○課題を克服するアイデア

- ・実現可能なアイデアなし